

平成25年度

赤穂義士会講演会のおしらせ

赤穂義士会では、毎年度忠臣蔵に関する著述をしている研究者・作家等を招き、忠臣蔵の普及啓発を目的として講演会を開催しています。平成25年度は、赤穂事件に関する著作も多数ある日本近世史研究の権威、東京大学史料編纂所教授の山本博文氏をお招きして、3月21日に下記のとおり実施いたします。ご家族や知人の方々もお誘い合わせのうえ、多数のご来場をお待ちしています。

- 日時 平成26年 3月21日（金・祝）
午後1時30分～午後3時

山本博文先生
来たる!!



- 会場 赤穂市文化会館（ハーモニーホール） 小ホール

- 講師 やまもとひろふみ
山本博文氏（東京大学史料編纂所教授）

- 演題 『忠臣蔵』の真実—なぜ吉良邸討ち入りが行われたか—



【要旨】現在も人気の「忠臣蔵」。そのモデルとなった赤穂事件の真実は、どのようなものだったのでしょうか。赤穂事件の発端である浅野内匠頭の刃傷事件から旧赤穂藩士たちによる吉良邸討ち入り、義士46人の切腹までを確かな史料で概観していきます。赤穂藩断絶後の旧赤穂藩士たちの生活の様子、浅野家再興と吉良邸討ち入りの方針をめぐる対立、討ち入りを前にした義士たちの手紙など、興味は尽きません。そして、吉良邸討ち入りは、なぜ行われなければならなかったのか。これは、当時の武士の観念を探ることなしには解けない問題です。これらの点を中心に赤穂事件の真実を探ります。

- 聴講料 無料

※当日は山本先生の近著『赤穂事件と四十六士』『これが本当の「忠臣蔵」』『忠臣蔵』の決算書』『歴史をつかむ技法』『武士道の名著』の販売もあります。

★山本博文氏のプロフィール★

東京大学史料編纂所教授。1957年、岡山県津山市に生まれる。東京大学大学院修士課程修了。1991年、『幕藩制の成立と近世の国制』により東京大学から文学博士の学位を授与される。1992年、『江戸お留守居役の日記』により第40回日本エッセイストクラブ賞受賞。BS-TBS『謎解き！江戸のススめ』、NHK-Eテレ『知恵泉』などテレビ出演多数。NHKテレビ『タイムスクープハンター』、NHK・BSプレミアム『雲霧仁左衛門』など時代考証も手がける。主な著書に、『日本史の一級史料』『現代語訳・武士道』『日曜日の歴史学』『忠臣蔵』の決算書』『赤穂事件と四十六士』『歴史をつかむ技法』などがある。

問い合わせ先 赤穂義士会事務局（赤穂市教育委員会 市史編さん担当）

赤穂市加里屋中洲3-56 TEL. 0791-43-6848